

第2回常磐公園自然環境調査ワークショップ議事録

第2回ワークショップの概要は表1に示すとおりであり、主な議事を表2に示した。

第2回ワークショップでの議題は秋季調査結果と冬季調査の実施方針の確認であり、主な指摘事項は以下のとおりであった。

- ・「～の一種」としてある種については、同定できるかもしれないので標本があれば送って欲しい。今後も同様である。⇒今回は標本は採取していない。いずれも春季・夏季には同定できる可能性があると考えられる。
- ・今回ハラオカメコオロギが確認されているが、前はタンボオカメコオロギが確認されている点が気になるので、前回調査で標本が保管してあれば確認して欲しい。⇒標本は無く写真のみが残っていた。同定結果は問題無いと考えられる。
- ・今回エンマコオロギが確認されているが、前はエゾエンマコオロギが確認されている点が気になる。エンマコオロギはかつては札幌以北にはいないとされていたので、標本が保管してあれば確認して欲しい。⇒標本は無いが鳴き声を録音してある。近年は道北方面でも同種が確認されており、同定結果は問題無いと考えられる。
- ・冬季調査方法は前回調査および今回秋季調査と同様で良い。「旭川冬まつり」(2/7-12)前後のどちらの日程でも良い。
- ・評価については個別の種にこだわっても全体像が見えにくくなるので、重要種や外来種に着目して実施するのが良い。

表1 常磐公園自然環境調査第2回ワークショップの概要

日時:平成28年11月28日(月)17:50~18:30

場所:旭川市第3庁舎土木部第4会議室

出席者:

◆有識者

塩田 惇(あさひかわ自然共生ネットワーク)、出羽 寛(あさひかわ自然共生ネットワーク)、寺島 一男(あさひかわ自然共生ネットワーク)、南 尚貴(元旭川市博物科学館館長)

◆業務受託者

渡辺 誠(管理技術者)、渡部 譲(担当者)

◆事務局

高橋 正樹(土木部公園みどり課)、山崎 正太(土木部公園みどり課)
大窪 俊英(土木部公園みどり課)

配付資料:

- ・常磐公園自然環境調査第2回ワークショップ資料(自然環境調査:秋季調査結果・冬季調査予定について)

表2 常磐公園自然環境調査第2回ワークショップにおける主な議事

●常磐公園自然環境調査の秋季調査結果・冬季調査予定説明

受託者の株式会社日水コンより秋季調査結果・冬季調査予定の説明を行い、有識者、事務局と意見交換を行った。議事概要は以下に示すとおりであり、調査項目別に以下に示した。

(1)植物調査

- ・「～の一種」としてある種については、同定できるかもしれないので標本があれば送って欲しい。今後とも同様である(有識者)。
⇒ 了解しました(受託者)。
- ・外来種の種数の表記の一部に間違いがあるので修正しておくこと(有識者)。
⇒ 了解しました(受託者)。
- ・写真を掲載する種については、できるだけ開花状況など種の特徴がわかりやすいものとする(有識者)。
⇒ なるべくそのようにしていますが、今回は秋ということで特徴がわかりにくい種もあります。今後において留意し、差し替え可能な種については対応します(受託者)。

(2)鳥類調査

- ・今年は季節の進行が例年と異なるため、鳥の動きも変わった様子が覗える(有識者)。

(3)両生類・爬虫類・哺乳類調査

- ・ヤマコウモリは6月から9月まで例年よりも多く確認されている。10月以降はいなくなるが、どこへ行くのかは不明である(有識者:資料提供あり)。

(4)昆虫類調査

- ・昆虫類リストの右列の各回確認状況は「確認地点数」を入れておくと良い(有識者)。
⇒ 了解しました(受託者)。
- ・今回ハラオカメコオロギが確認されているが、前回はタンボオカメコオロギが確認されている点気になるので、前回調査で標本が保管してあれば確認して欲しい(有識者)。
⇒ 了解しました(受託者)。
- ・今回エンマコオロギが確認されているが、前回はエゾエンマコオロギが確認されている点気になる。エンマコオロギはかつては札幌以北にはいないとされていたので、標本が保管してあれば確認して欲しい(有識者)。
⇒ 了解しました(受託者)。
- ・「キイロスズメバチ」として記載されている種は「ケブカスズメバチ」に訂正しておくこと(有識者)。
⇒ 了解しました(受託者)。⇒再確認した結果、「ケブカスズメバチ」は以前に使われていた種名であり、両者は亜種の関係で、種名としては「キイロスズメバチ」を使うのが現在は普通ですので、表記は「キイロスズメバチ」のままとしておくのが良いと考えられます。(参考:「日本産有剣膜翅類目録、日本蟻類研究会特別報告, No. 2: 1-123. (2004)」)

(5)微気象調査

(特に意見無し)

(6)冬季調査について

- ・冬季調査方法は前回WSで確認しましたとおり、前回調査および今回秋季調査と同様で良いでしょうか(受託者)。
⇒ 良い(有識者)。
- ・「旭川冬まつり」が2/7-12の日程で開催されますが、調査はこの前または後のどちらでも良いでしょうか(有識者)。
⇒ どちらでも良い(有識者)。

(7)その他

- ・評価については個別の種にこだわっても全体像が見えにくくなるので、重要種や外来種に着目して実施するのが良い(有識者)。
⇒ 了解しました(受託者)。